

中央アルプスど真ん中縦走と南木曾岳
越百山~南駒ヶ岳~空木岳・南木曾岳

実施日 2022年7月27日(水)~31日(日)

天候 5日間 快晴

リーダー 峯川 弘子

参加者 峯川弘子、徳山敬子 計2名

費用 高速・ガソリン代 5,370円/1名
別途大月駅までJR料金

タイム 7/28 駐車場(6:40)伊奈川ダム (7:00)登山口駐車場 (7:30)福栃橋 (8:40)上のコル(11:00)水場(13:30)越百小屋(15:15)

7/29 越百小屋(5:50)越百山 (7:20-7:3仙涯嶺(10:04)南駒ヶ岳(13:25)赤柳岳 (14:47)空木岳(16:46)駒峰ヒュッテ(17:00)

7/30 駒峰ヒュッテ(6:10)空木岳(6:25-35)木曾殿山荘(8:35-50)木曾義仲の力水(9:15-30)八合目(10:48)渡渉地点(12:50-13:35)うさぎ平(15:08)金沢土場(15:47)今朝沢橋(17:16)駐車場(18:10)

7/31 駐車場(8:50)登山口(9:15)金時岩(9:35)金明水(10:00)かぶと岩(11:37)南木曾岳(11:53)見晴台(12:15-12:35)摩利支天(12:50)登山口(14:40)駐車場(15:00)



7/28 登山口駐車場までの道路崩落の為林道ゲート前がある10台ぐらいのスペースに駐車。そこからダム経由福栃橋まで林道歩き約2時間でしょう

やく登山道。小屋まではひたすら上り、上のコルからぐっと傾斜が増し、ピークに着いて小屋へは一旦下る。



7/29 小屋から越百山までは熊笹で鬱蒼として朝露で濡れる、



急登をがんばって登り上げると南には人を寄せ付けない安平路山への縦走路、北には仙涯嶺を擁するどっしりとした雄大な南駒ヶ岳、左下に恵那山山塊、中ア縦走

路の絶景！！

仙涯嶺は岩場より、越百小屋で聞いた昔にハイマツ帯を除去した為に崩落がすすんでいるという箇所通過の方が怖い。



南駒までは石や岩をよけつつ背丈ほどある格闘しながらの狭い登山道で大幅に時間がかかってしまった。南駒から花崗岩の滑りやすい登山道を下り右に南ア揃い踏みの絶景とともに赤柳岳を通過、そこからよう



やくラスボス空木が見えた！登っても登っても近づかない、でも明けない夜はない、自分を奮い立たせ、姉妹でまた来たぜ空木岳！！二度めはきつかったー！山頂は人が多く、目の前に御嶽山と乗鞍岳、変わらない絶景を見せてくれた。



7/30 駒峰ヒュッテからご来光を拝み朝日に輝く御嶽山、乗鞍、遠くに北ア、薬師、笠、穂高を背にまた空木岳へ。木曾殿山荘への岩場は上りより下山に使う方がハード。

木曾殿山荘からは細い登山道、ストックは慎重に、木曾義仲の力水以外にも水場は豊富、決壊した橋の渡渉は3m巾ほど、晴天続きで石を選んで



行けそうでも水嵩がひざ下ぐらいあるのでサンダルなど履き替えた方が無難です。刈られた熊笹で足がすっぴりとはまはまる分厚い絨毯も続く。緊張が続くがうさぎ平で登山道は終了、ほっとして

まで長～い林道歩き約3時間。

7/30 今日筋肉痛で妻籠宿観光と南木曾岳登山に分かれそれぞれ単独行。

駐車場から金時岩分岐まで林道、分岐からはひたすら急登、上り下りに次々と出てくる木の階段は鎖、ロープが併設されているが落ちそうで下りはかなり怖い。



お会いした下山者はアスレチックのようだったと言う、どんだけ～

山頂は樹林の中なので20分ほど登り返した見晴台が展望スポットでベンチもあり整備されている。

中アと北ア揃い踏みの絶景でした。



< 宿泊・温泉情報 >

【民宿いとせ】7,500円

自家栽培の野菜を中心に天ぷらや豚肉鍋など食べきれないほど出してくれます。腰が曲がって耳が遠い80歳過ぎの3姉妹で切り盛り、ビールを頼んでもえっ？と聞き返される。料理を出すのも片づけもこちらが手伝ってあげたいほど、ある意味落ち着かない宿？(笑)

【越百小屋】10,500円

親切な奥さんと山男二人で管理。小屋は狭いがバイオトイレが超きれい、食事は残されてゴミが出ないよう少量ずつで美味しい。狭いお膳や寝る場所もグループごとにコロナ対策のシールド、水は洗面用も持参か購入以外一切なし。お湯有料。コロナ渦で外履きのサンダルが使用不可だったので持参した渡渉用のサンダルがとても役にたった。

【駒峰ヒュッテ】6,000円(寝袋付)

期間限定で常駐している話好きの親切な管理人さん、伊那市の登山クラブの方で木曾周辺の山の情報を教えてくれる。自炊テーブルや寝る場所もグループごとにコロナ対策のシールド、水は洗面用も持参か購入以外一切なし、ポットのお湯は素泊まり以外は無料。

【民宿こおしんづか】4,000円

(南木曾町プレミアクーポン適用)
南木曾岳近くにある旅籠、コロナ渦前はインバウンドや、中山道、木曾路をつなげて歩く観光客でピーターが多い。食事も部屋の窓から見える川の風景もとても良かった。訪れた人とは家族のような関係でいたいというコンセプト、昔から水害が多いという南木曾町の話の伺い、南木曾岳の登山道を歩いて実感した。

【大江戸温泉物語 ホテル木曾路】

日帰り温泉870円

南木曾岳蘭登山口から車で15分、各籠宿を通る南木曾町循環バスで行くことができるので下山後にここで待ち合わせ。山の中の広大なホテル、露天風呂がとても素晴らしく日帰り入浴ではもったいない。今度はぜひのんびりと泊まりで訪れたいと思いました。

<あとがき>

今回、越百小屋宿泊の4人と伊奈川ダムから南駒経由で登ってきた方1名以外、空木岳方面から縦走する登山者にも一人も会わない静かな厳しい縦走路でした。

そのご褒美に中アの奥深い絶景！

和歌山県から来た単独高年男性は下山後、翌々日に安平路山に挑戦すると言う。伊那市在住の単独女性は空木から来て南越百～奥念丈岳～烏帽子岳から伊奈側へ下山するとのこと、安平路はさすがに行けないと言っていた。

伊奈川ダムへ下山中の林道で追い越された単独の男性3人は自分たちが2泊した縦走路を日帰りで周回してきたとの

こと、以前は逆回りした方も。これまであちこちの山小屋でお会いした方達もそうだったが世の中にはすごい登山者達が本当にたくさんいる。

空木岳到着が17:00になってしまい、電波の届くところで木曾殿山荘につながり事前に伝えると、この時間からは危ないので管理人がいるから駒峰ヒュッテに泊まるよう指示された。寝袋、ガス、予備の食料装備がない中ヒュッテに着くと管理人さんが木曾殿から連絡を受けて、込み合っている中二人分のスペースを空けてくれていた。食事はカップラーメンにアルファ米を入れ、缶ビールも調達できて本当に感謝、感謝です。

運よく？その日に木曾駒から縦走してヒュッテ予約の女性2名がやはり時間切れで木曾殿で素泊まりするとのこと、こぶし会2名とトレード？だったよう。

翌日、木曾殿山荘へ下山し、ご主人に感謝とお礼の言葉で挨拶をしました。

この木曾殿山荘は何年も前に木曾駒から3姉妹で縦走して泊まった思い出の場所。当時黒ぶち眼鏡の学生っぽかった息子さんはりっぱなご主人に、お父さんは白髪で恰幅のいい初老の雰囲気になっていた。奥様は高血圧で山を下りたとのこと、その分自分達も確実に老いている。こぶし会山行で今回たまたま姉妹二人の参加になったが、

空木岳の山頂に再び姉妹で立つことができ感慨深い山旅になりました。

(記&写真・峯川 弘子)